

河川砂防技術研究開発公募 砂防技術分野

平成 29 年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合評価
大規模外力に対してレジリエントな砂防施設の設計手法の開発 (研究期間：H29 年度～H30 年度)	砂防学会 理事 石川芳治	A
<p><研究概要></p> <p>過去の土石流等の土砂移動現象について統計解析を行うことにより大規模外力の設定手法を開発した。さらに過去に発生した大規模な土砂移動現象による砂防施設等の被災実態を基に、数値解析等を用いて砂防施設の破壊プロセスおよび破壊メカニズムを解明し、大規模外力に耐えうるリダンダンシー（冗長性）が高く、ロバストネス（頑健性）が大きく、レジリエントな(粘り強い)材料、構造を持つ砂防施設の設計手法ならびに既設砂防施設の補強法を開発した。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>本研究は、雨量、礫径分布、流域面積と砂防堰堤の被災実態、大規模土砂災害の発生・非発生、流出土砂量との関係を多くの実例を基に明らかにしており、今後の施設設計・技術開発等への還元が期待できる。</p> <p>今後は、さらにデータベースおよび各指標の充実を図り、様々なケースに対応できるよう検討を進めて頂きたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い